

中国経済と 米中関係の行方

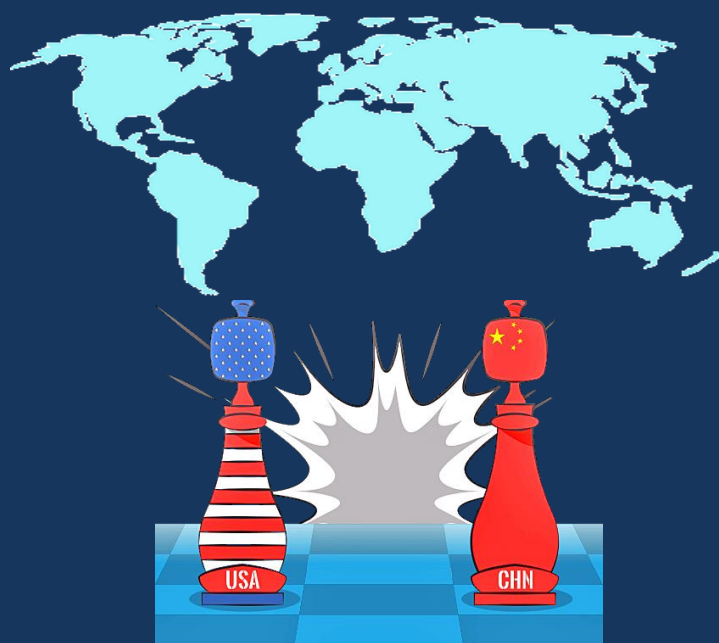
「近々妥結か」と期待されていた米中貿易交渉が急に暗転したのは、米国のタカ派が主導する「ファーウェイ封じ」が激化したせいだ。これに反発した中国はいまや「徹底抗戦」の構え・・・米中関係は本当に「20年は続く冷戦」期に入ってしまったのだろうか。

本講演では、中国経済を冷静に観察すれば違った展開が見えてくることを論ずるとともに、米国のタカ派政策が中国、世界経済だけでなく、米国の国益を深刻に傷つけることを訴える。

津上 俊哉 氏
日本国際問題研究所客員研究員



1957年生まれ。1980年東京大学卒業後、通商産業省に入省。在中国日本大使館参事官、北東アジア課長、経済産業研究所上席研究員を歴任。2018年4月から現職。



日 程：2019年7月16日（火）

18：30～20：00（受付開始 18:15）

場 所：BIZCOLI 交流ラウンジ（定員 40名）

（福岡市中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル共創館 3F）

講 師：津上 俊哉 氏

（現代中国研究家 日本国際問題研究所客員研究員）

参加費：賛助・BIZCOLI 会員・・・無料

一般・・・1,000 円

下記の項目を記入のうえ FAX（092-721-4908）または、ホームページ（<http://www.bizcoli.jp>）からお申込みください。（定員 40名になり次第、締め切らせていただきます）

会社名・団体名	所属／役職
住 所	電話番号
ふりがな お名前	E-mail

お問い合わせ先：（公財）九州経済調査協会 BIZCOLI 牟田・平田
810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館3階 電話：092-721-4908 FAX：092-721-4908
主催：公益財団法人九州経済調査協会